

☆前回:第 16 回定例会(12/22)のまとめ

第 16 回定例会における全体会・部会の協議内容をまとめてみました。

【定例会（前半）の振り返り】

□地域共生社会推進室・・・今回は欠席

<開始前の連絡事項>

議長より

・ S F C 秋山美紀教授の授業に時津委員と参加。湘南大庭地区を取り上げていただき学生たちの、「やらせてもらっている」との強い思いが伝わってきた。研究会の学生たちとの交流も大切にしたい。



【議題】

1. 前回の確認

【資料 1】 第 15 回定例会議事録（案）・・・全体承認

2. 部会報告

○ I C T 部会

【資料 2】 第 3 回スマホ教室チラシ

→地域回覧を実施＝印刷作業は 12/24AM に行う。

○ 支えあい・助けあいの地域づくり部会

【資料 3】 イオン藤沢店催事スペースの使用について

12/21 に地域の障がい事業所（2カ所）に出向き、出店意向などを聴き取りに行った。→両事業所とも前向き

3. 湘南大庭地区郷土づくり全体集会について

【資料 4】 回覧チラシ（案）

→原案への修正箇所

- ・ 第 2 部を「ポータルサイトの活用と情報発信」に変更する。
- ・ 「定員 80 名」を削除する。
- ・ 「検温、マスク着用等の協力に関する表現を入れる。
- ・ コロナ感染状況によって中止する可能性があることを加える。
- ・ 主催者「湘南大庭地区郷土づくり推進会議」を加える。

【資料5】運営要領&役割分担

○壇上で委員紹介はしない。部会発表 PPT で紹介する。

→原案への修正箇所

- ・10:40～10:55 「ICT部会」に修正
- ・役割分担・・・舞台・会場設営 西川・松下（追加）

4. その他

今後の動きは【資料6】推進会議スケジュール（案）のとおり
次回以降の予定

- ・1/18（火） 第17回＝全体集会発表内容、原稿検討
- ・2/1（火） 第18回＝全体集会のリハーサル等
- ・2/5（土）AM 全体集会

<情報提供>（事務局）

地域支援パートナー会議（包括&CSW&市民センター）を開催したので湘南大庭が抱える課題を共有させていただく。

↓

☆湘南大庭地区の現状

- ・確実に独居世帯が増えている。包括が4月～10月に関わったケースだけで97件（理由は様々…死別、施設入所など）
- ・これまで何の相談もなかった方で、急激な身体能力の悪化や認知症がかなり進んでいるケースで相談を受けることが増えている。フレイル予防をはじめ、人や地域とのつながりが本当に大切になっている。
- ・介護や癌などで当事者を支えることは当然だが、家庭で支えている側や残された家族等のケアが置き去りになっている。
- ・人間である以上、これらのことは誰もが必然的に経験する。「自分事として捉える」「身近に感じる」これらが非常に重要。

→これらも地域課題として捉え、郷土づくりに限らず、今後の様々な活動につなげていければと思っています。

【部会検討（後半）】～当日の様子～

～検討内容～

健康増進部会（委員7名）

- （1）全体集会部会報告（岡田委員作成）
最終確認

- ・当日フレイル予防のリーフレットを配布検討



(2) 健康測定・相談会チラシ検討

- ・3/9(水)PM予定 チラシ回覧は2/10号
- ・会場…湘南大庭市民センター 第1/第2談話室
- ・時間…13:30～ 14:30～ 15:30～ 密を避ける
=3段階に分ける

<内容>

- ・中北薬品(株)の健康測定実施
<機材は4種類>
骨ウェーブ、ボディチェッカー、
ボディプランナーロコモティブシンドローム測定
 - ・管理栄養士による栄養指導
- 測定結果を基に健康指導(健康増進課・高齢者支援課等の保健師)は可能か。
データについては継続活用できる用紙を検討する。

助けあい・支えあいの地域づくり部会(委員4名)

(1) イオン藤沢店での販売について

○2事業所(障がい事業所)との打合せ結果

- ・使用料無料で販売希望あり
 - ・平日で月1回か2回(後は検討)
 - ・時間は 10:00～12:00
 - ・販売責任者と事業所利用者で販売
 - ・販売品「瑕疵」は事業所側で対応
- 上記内容をもとに「企画書」を作成し、
イオン側と打合せをする



(2) 全体集会での発表内容について

- ・3病院の送迎バスについて
- ・イオン藤沢店と事業所とのつなぎについて



ICT部会(委員5名)

(1) 「第3回スマホ教室」のチラシ内容について

- ・“初めての方限定”と訂正する
→電話受付の際に念のため確認する。
- ・印刷作業は柳澤委員が協力…12/24で決定

(2) フォローアップ講座(2/22予定)について

- ・時間公民館との共催は難しい。

- ＝来年度、年間計画に載せていくことは可能。
- ・80名を対象に全戸回覧は難しい。
- ＝菅谷さんより参加者に連絡する→次回再度検討

(3) 全体集会・活動報告

- ・アンケートの回答内容を報告した方が
良いのでは？
課題の抽出から問題についてこのように検討しました…等
- ・全体集会第2部・・・久松氏の講演内容は未だ把握していない。



以 上